



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・  
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1996, 65(6):  
981-981

ISSUE DATE:

1996-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/95679>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成8年3月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第65巻 第6号

ISSN 0525-2997

**vol.65      no.6**

# 物性研究

**1996 / 3**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **63** (1994), 1. のように引用して下さい。

### 原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

  - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
  - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
  - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
  - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
  - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
  - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
  - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
  - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（*□*）、ゴシック（**□**）、ギリシャ文字（ $\alpha$ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
  - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

## 編集後記

### 物理学者と社会的責任

日本物理学会誌9月号(1995年)の決議三に関する会長説明と会告を読んで、深く失望した。日頃、原子力や地震問題で科学者と呼ばれる人々が市民の批判にさらされ、真剣に考えたとはとても思えない回答をする場面に出会う事が多くなって来たので、現実の社会問題に対する科学者の無関心、無知に対して不安を感じていた。それを証明するように思えたからである。

現在、チェルノヴィリ事故後10周年を控えて、子供の甲状腺ガンなどが急増している。<sup>1)</sup> 広島・長崎の原爆の放射線被曝の被害は50年の長期にわたって、ガンを多発させてきた。一般に広島原爆の1千発分の死の灰が蓄積している原発の事故は、チェルノヴィリ事故のように地球規模に及ぶ。チェルノヴィリ事故の被害として、百万人以上のガン死者も予測されている。<sup>2)</sup>

最近、チェルノヴィリの子供達の手記を読んだ。<sup>3)</sup> 事故の起こった幼児期には事故の意味も危険性も知らず被曝し、現在もなお汚染地に住み被曝し続けざるを得ない子供達、何時、ガンや白血病に侵されるかも知れない子供達、自分達の子供が無事に生まれるかどうかを心配しながら結婚を決意する若者達。これらの人達の人生を変えたのはたった、1基の原発の事故がもたらしたものである。彼らは科学者や政府、大人達を批判するよりも、けなげに現実を受けとめて強く生きようとしている。そして、子供達は、世界中で2度と彼らのような不幸が起らないようにと強く訴えている。私達は日本や世界の原発は大丈夫だと自信を持って答える事ができるだろうか。

決議三は「…日本物理学会は今後内外を問わず、一切の軍隊からの援助、その他一切の協力関係を持たない」と定めている。軍事機関が一般的な基礎研究を援助する事は軍事研究の視点から基礎研究を評価する事になる。決議三の基本精神は「軍隊からの援助」を受けず、軍隊に協力もしないということである。これは軍隊からの援助によって、研究が歪められ、ヒモつきになることを排し、世界の平和と人類の幸福のために科学を発展させたいという精神を表したものであると考えられる。

私が訴えたいことは、科学者の研究と生活が社会に支えられている以上、科学者は社会に貢献し信頼されるものでなければならないということである。まして、チェルノヴィリ事故のように人々を不幸にするような事があってはならない。核兵器を始めとする軍事兵器の開発に対する責任、原子力開発に対する責任、地球温暖化や酸性雨などの環境問題、現在の教育も重大な問題を抱えていないであろうか。これらの問題は科学的な判断無しに解決する事はできないと思う。物理学者は全体としてその責任を誠実に果たして来たであろうか。最近、私が強く感じる事は、市民の科学に対する批判であり、科学者が信頼も期待もされなくなっているのではないかという危惧である。決議三を目障りと感じるのが、研究を優先するために、社会的責任を回避したいという気持ちの反映でなければ幸いである。

K. Y. (則天去私)

1) I. A. Likhtarev, B. G. Sobolev and I. A. Kairo; Nature vol.375 (1995) 365.

2) 小出 裕章; 放射能汚染の現実を超えて (1992) 北斗出版.

3) チェルノヴィリ支援運動・九州訳; 私達の涙で雪だるまが溶けた ―子どもたちのチェルノヴィリ (1995) 梓書院.

---

物 性 研 究    第 65 卷第 6 号 ( 平成 8 年 3 月号 )    1996 年 3 月 20 日発行

|     |             |            |   |
|-----|-------------|------------|---|
| 発行人 | 村 瀬 雅 俊     | 〒 606 - 01 | 京都市左京区北白川追分町<br>京都大学湯川記念館内                  |
| 印刷所 | 昭 和 堂 印 刷 所 | 〒 606      | 京都市百万辺交差点上ル東側<br>TEL ( 075 ) 721 - 4541 ~ 3 |
| 発行所 | 物性研究刊行会     | 〒 606 - 01 | 京都市左京区北白川追分町<br>京都大学湯川記念館内                  |
| 年額  | 19,200 円    |            |   |

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

|            |                       |                 |
|------------|-----------------------|-----------------|
| <b>年会費</b> | 1st Volume (4月号～9月号)  | <b>4,800円</b>   |
|            | 2nd Volume (10月号～3月号) | <b>4,800円</b>   |
|            |                       | <b>計 9,600円</b> |

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。**

### 物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内  
電話 (075) 722-3540, 753-7051  
FAX (075) 722-6339

物性研究 65—6 (3月号) 目次

○研究会報告

「第9回液体およびアモルファス金属国際会議(LAM9)報告」…………… 813

「原子核とマイクロクラスターの類似性と異質性」…………… 819

○編集後記…………… 981

○目録 (Vol.64, 65)…………… 983

物性研究 65—6 (3月号) 目次

○研究会報告

「第9回液体およびアモルファス金属国際会議(LAM9)報告」…………… 813

「原子核とマイクロクラスターの類似性と異質性」…………… 819

○編集後記…………… 981

○目録 (Vol.64, 65)…………… 983